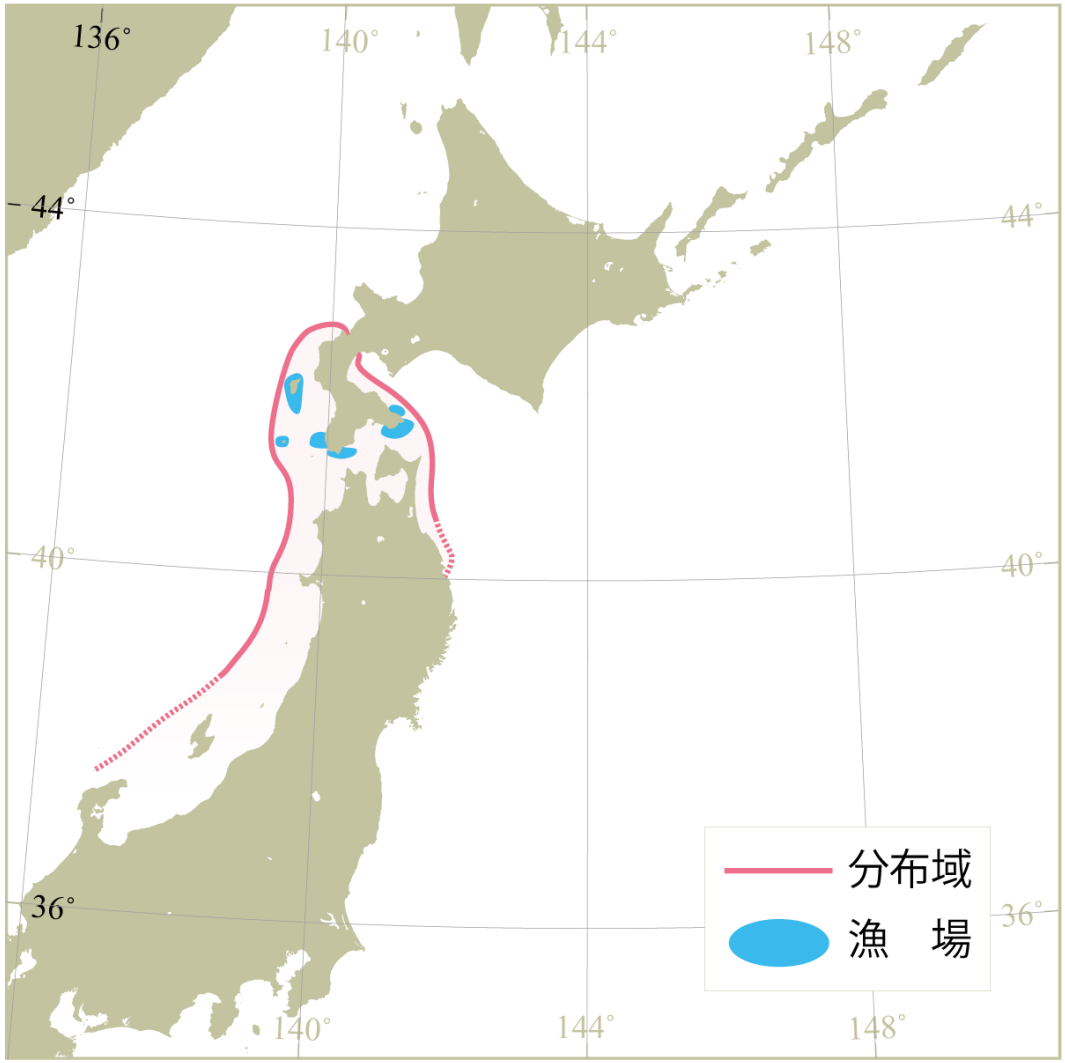
ホッケ道南系群
令和５年度資源評価結果

生物学的特性

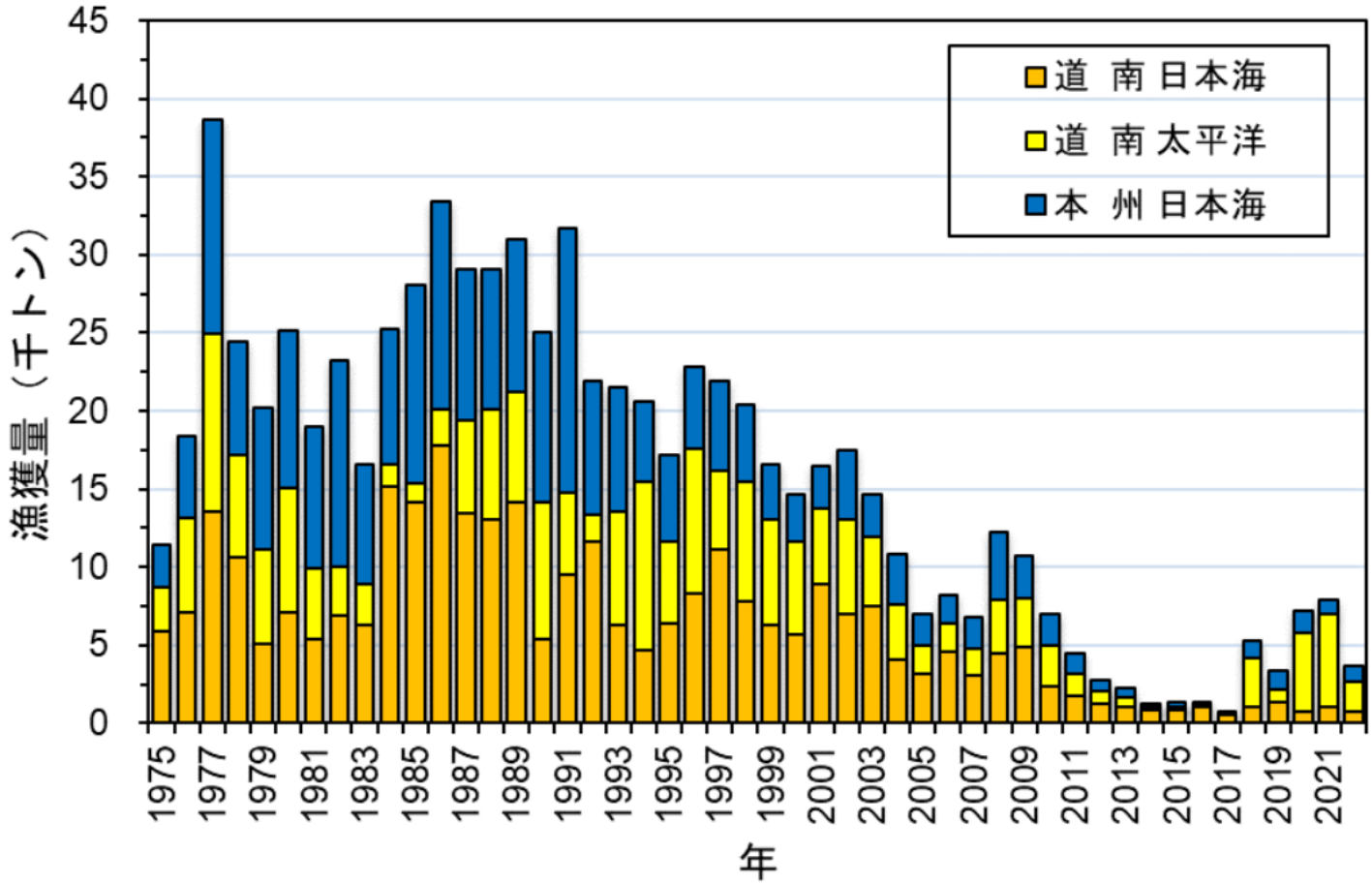


生物学的特性

- **寿命：**
  不明（他の系群では8歳以上）
- **成熟開始年齢：**
  1歳（一部）、2歳（約100%）
- **産卵期・産卵場：**
  11～12月、北海道渡島半島西岸、奥尻島沿岸、恵山周辺の岩礁域
- **食性：仔魚期には主にカイアシ類、未成魚期にはヨコエビ類、岩礁周辺で定着生活に移行後は魚類、魚卵、イカ類、エビ類、ヨコエビ類、オキアミ類など**
- **捕食者：不明**

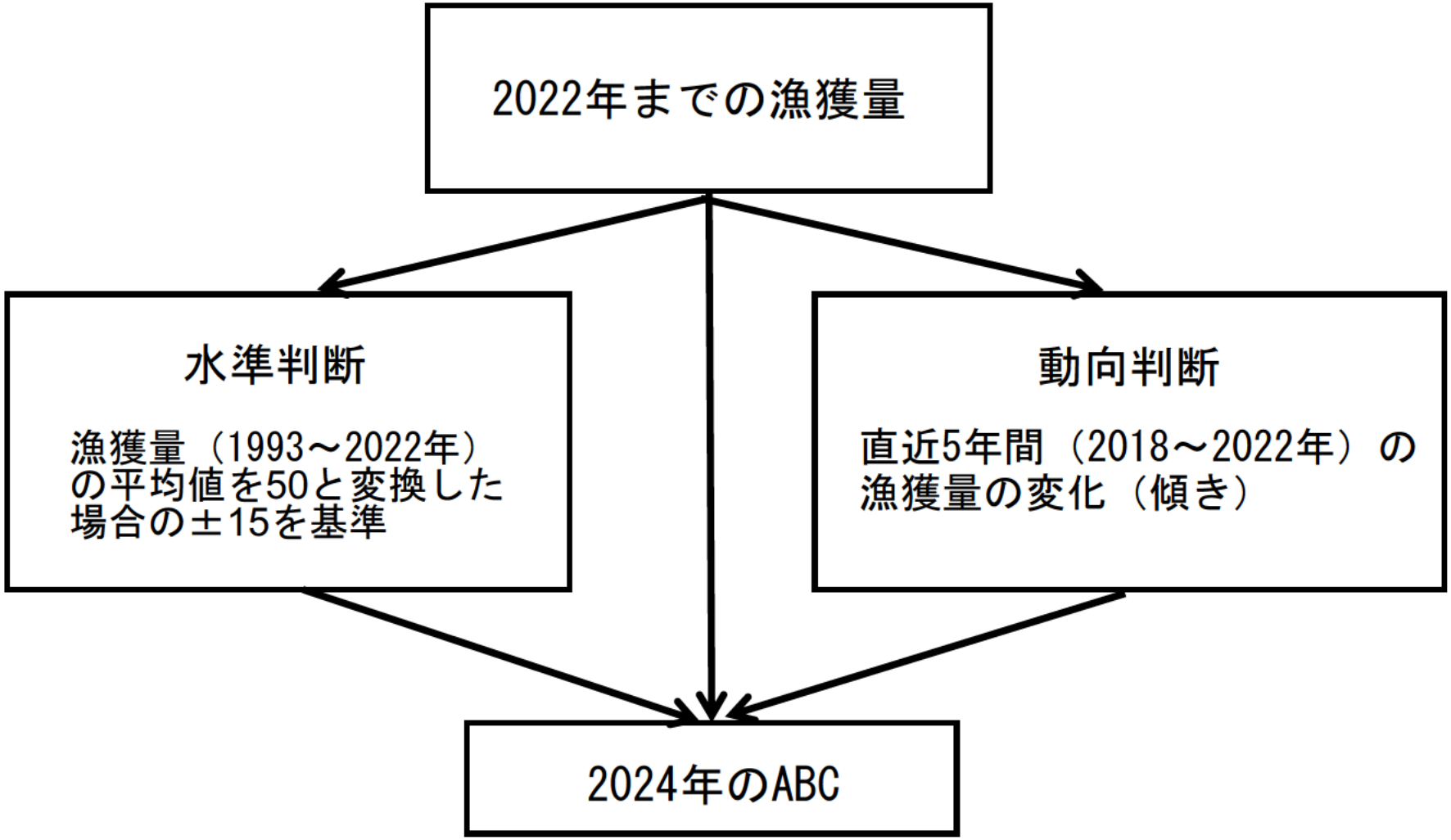
- ほぼ周年漁獲されるが、特に春季の索餌期と秋季の産卵期に漁獲量が多い

漁獲の動向

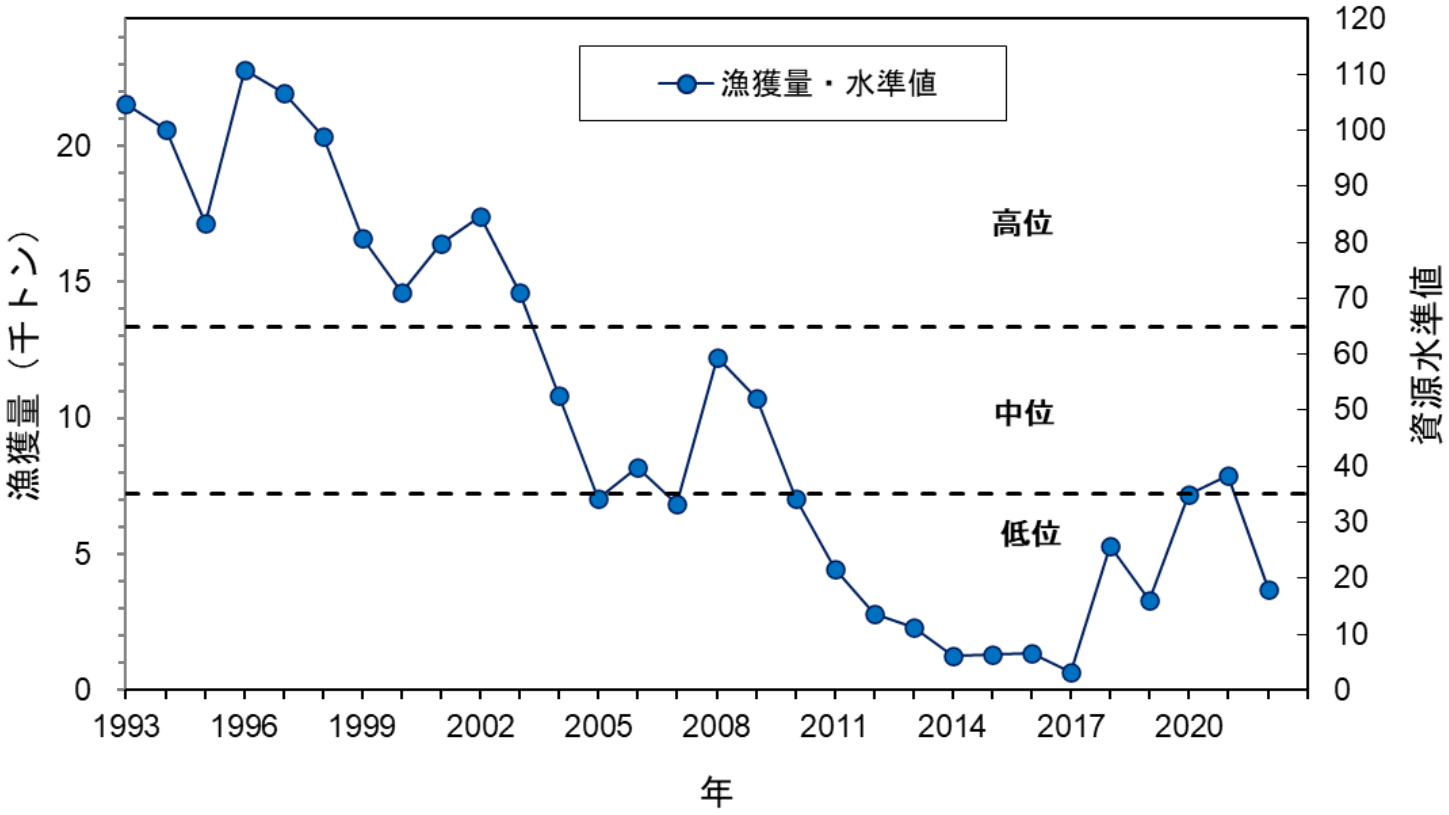


- 2022年の漁獲量：3,710トン（2021年：7,905トン）
- 2022年は道南太平洋、道南日本海で減少してそれぞれ1,944トン、756トン、本州日本海では若干増加し1,010トン
- 沿岸漁業（定置網・底建網、刺網）が主体

資源評価の流れ


2022年までの漁獲量
水準判断
漁獲量（1993～2022年）の平均値を50と変換した場合の±15を基準
動向判断
直近5年間（2018～2022年）の漁獲量の変化（傾き）
2024年のABC

資源の動向



※水準区分　低位／中位：水準値35、中位／高位：水準値65
（1993年以降の漁獲量の平均値を50とし、各年の資源量の値を水準値として算出）

- 資源水準：2022年の漁獲量は3,710トンで、資源水準値は18であり「低位」
- 資源動向：直近5年間（2018～2022年）の漁獲量の推移から「横ばい」

資源評価のまとめ

- 資源水準は「低位」、動向は「横ばい」
- 漁獲努力量が比較的安定したと考えられる1993年以降の漁獲量に基づいて資源状態を判断した

2024年ABC

管理基準	Target/ Limit	2024年ABC（トン）	漁獲割合（%）	F値（現状のF値からの増減%）
0.7・Cave3-yr・0.86	Target	3,020	-	-
	Limit	3,780	-	-

- ABC算定規則2-2）よりABClimit=δ_2・Ct・γ_2で計算
- δ_2：0.7（資源水準が低位である場合の標準値）
- Ct：Cave3-yr（直近3年間（2020～2022年）の平均漁獲量）
- γ_2：0.86（直近3年間の漁獲量の傾きと平均で求まる係数）